2025年度 教育、情宣、文化・レク担当者会議開催

2025度の活動方針を決定

活動を通してJR西労組運動を広めよう

大阪地方本部は10月9日(木)、近畿労働金庫 天王寺支店会議室に於いて、「教育、情宣、文化・レク担当者会議」を開催し、各支部と地方本部それぞれの部長以下担当者が出席、今後一年間の進め方について議論を行った。

会議は、大阪地方本部執行部を代表して禅野執行委員長から、万博輸送、四半期決算についての挨拶の後、はじめに文化・レク部の村岡部長から、文化・文芸作品コンクールや各レクリエーション開催実績、京都駅ビル大階段駆け上がり大会など経過報告があった。

議題として、次回京都駅ビル大階段駆け上がり大会の出場選手、2025年度のレクリエーション要綱(案)について意見を集約した。

出席者からは、綱引き大会要綱について、今年度の開催方針を補強した。

大阪地方本部 村岡文化レク部長

大阪地方本部 岡田教育部長

北大阪支部
栗栖教育部長

北大阪支部
宇仁菅文化レク部長

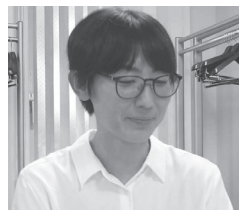
北大阪支部
網本書記長

大阪支部
水盛政策調査部長

大阪支部
松波書記長

北大阪支部
加藤情宣部長

天王寺支部
松原書記長


大阪支部
西田情宣部長

大阪支部
大務教育部長

奈良支部
勢渡書記長

天王寺支部
上條情宣部長

天王寺支部
仲川教育部長

奈良支部
田島文化レク部長

奈良支部
中原教宣部長

教育部の岡田教育部長から2024年度経過について、ユニオンカレッジ・ユニオンスクールなどの開催実績の報告があり、研修前の意識付けについて、データに基づき共有があった。

2025年度に関しては、中央本部主催の「ユニオンカレッジ」大阪地方本部主催の「ユニオンスクール」について提案があり、受講者の選定について各支部担当者で確認が行われた。また、各支部の教育活動の報告など有意義な議論となった。

情宣部の川勝情宣部長から機関紙連載記事の分担や内容の共有、機関紙コンクール開催の確認、JR西労組LINEやオンライン研修システム、JR連合SNSの周知、分会機関紙の積極的な発行の要請などについて説明があった。

各支部の情宣部からは、各支部情宣担当者で各支部の機関紙を共有したい等、支部独自の情宣勉強会について発言があった。

最後に多くの組合員が、参加し関心が持てる運動となるよう、各支部と地方本部が一丸となって、この1年を精一杯取り組むことを確認し会議を終了した。